

令和6年度 学校運営協議会委員からの評価

1. 各部・各系列について
<p>(1) 各部・各系列とも工夫をこらした取組がなされていると感じます。反省点も、今後の改善につなげていこうとするところが見られます。今後とも共に頑張っていきましょう。</p> <p>(2) 各教科においてICT活用のための研究を進められており、時代の要請にマッチした取組として評価できる。農業分野においてもスマート農業技術の導入スピードがすさまじいため、農業系列の授業においても農業方法や実習無いようについて十分な検討を行っていただきたい。</p> <p>(3) 各々、目標に向かって取り組んでいることが理解できました。</p> <p>(4) 学校の広報活動（学校HP・YouTube）の更新等には積極的に生徒たちのアイデアを取り入れる。</p> <p>(5) 学校のよい環境づくりを、生徒会にその一役を負わせる。</p> <p>(6) 意欲高く学習に取り組む生徒も多くいる。年間を通して、先生たちの工夫や改善の様子が見て取れた。インターンシップやデュアルシステム、即売会やボランティア活動等を通して、外部に関わることも生徒に刺激を与え、主体性や意欲を育てることにつながっていると思う。このような門高らしさをさらに強化しつつ、節度を持った取り組みを深められると良いと感じた。</p>
2. 地域連携について
<p>(1) ボランティア活動に積極的な生徒が多い。地域に住む大人の一人として、頼もしく感じている。</p> <p>(2) 地域連携は、県下高校の活動の中でも特筆すべき内容なので、引き続き地元小中学校や自治体と連携した活動が展開されていくことを期待する。</p> <p>(3) すでに生徒が主体となった取組が多数あると感じる。本会としても、ともに地域連携への取組ができると良いと感じる。</p> <p>(4) 町内小中学校の行事や防災訓練等、門高生の率先した活動する姿に感動を覚える。</p> <p>(5) 即売会や学習発表会等は、学校のPRの最高の場となっている。</p> <p>(6) 学校の中だけでなく、地域や社会に広くしっかりとかわることによって間違いなく成長につながるものと感じる。生徒のキャリア教育には地域の力が不可欠で、その活動を支える職員の共感を得ることや、役割分担が重要である。より広く地域に根差す企業や自治体と連携が生まれることを期待する。</p>

3. 令和7年度以降の学校運営協議会について
<p>(1) 地域の大人が学校に関わる良い機会をいただいていると感じる。</p> <p>(2) 学校を知る上でも継続した方が良い。</p> <p>(3) 地元の高校生や学校の運営状況を知ることが必要と感じており、地域の企業として門川やここでもとにクラス地域の方々とどのように発展していきたいかを考えさせられる。</p> <p>(4) 高校サイドに負担がかかりすぎない形で、かかわり方や情報交換をさらに強化していきたい。</p>
4. その他
<p>(1) 生徒一人ひとり、抱えている問題が異なるため、それらに対応される先生方の苦勞がわかる。これらの評価は表には出しづらいものであるが、引き続き本校生徒の育成について尽力いただきたい。</p> <p>(2) 生徒の成長意欲や社会性・倫理観をどう高めていけるかが、門高の更なる発展のカギだと感じている。</p> <p>(3) 学校側のしっかりとした理念、生徒たちを思う先生方の思いを含めて、今協議会でよりよくするための議論を行い、学校の活性化・活動に結びついていけばよいと考える。</p>